

機械設計の効率化に関する研究

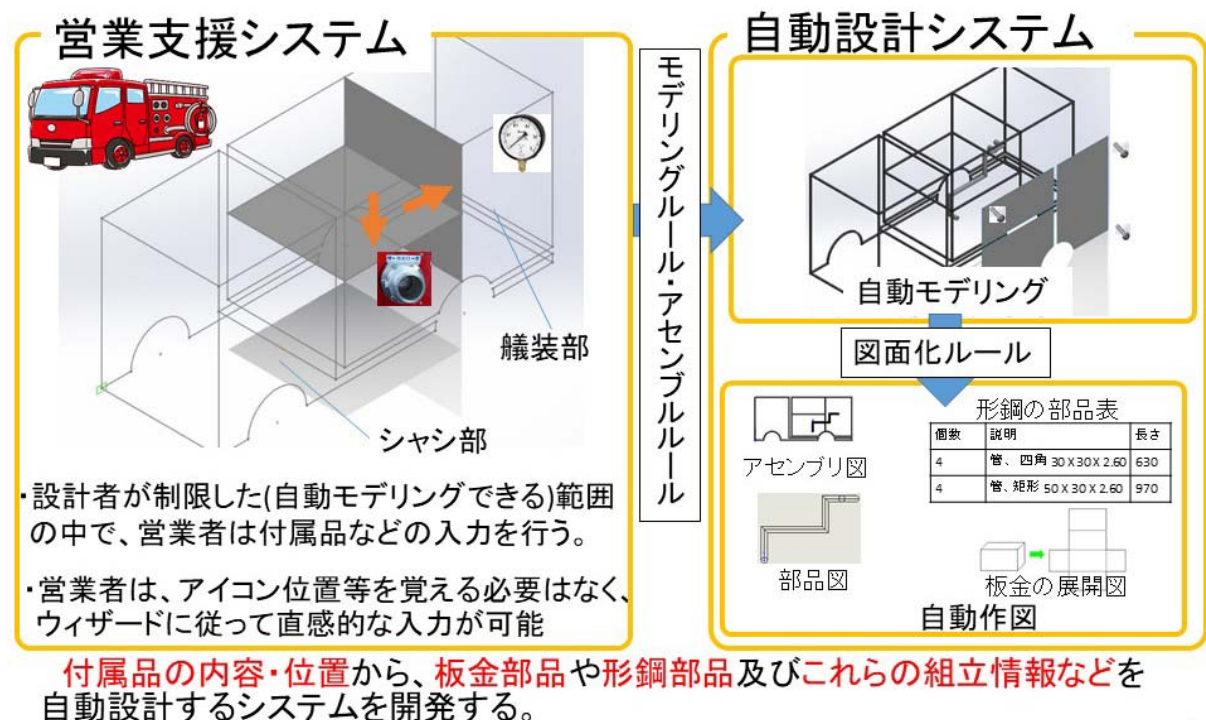
1. はじめに

人口減少により製造業の人手不足が深刻化しています。長崎県では、県内企業がデジタル技術を活用してビジネスプロセスを改善し、事業を効率化するため、DXを促進しています。よって、当センターは、県内企業の事業効率化に向けて、ビジネスプロセスを改善するデジタル技術を提供します。

県内中小企業は、〔1〕受注生産型製造業が多く、受注から納品までが短い、〔2〕県内受注生産型製造業は、板金や形鋼又は管を使った製品が多い、〔3〕先端技術の技術移転ではなく、現状の1歩先となる現状事業の高度化を望む企業が多いです。

2. 内容

上述の背景から、板金や形鋼又は管を用いた製品を受注生産する製造業の工期短縮を目的とし、板金や形鋼又は管を用いた製品に特化した受注生産向け自動設計システムを開発します。



3. 成果の応用例

開発したシステムは、車両の開発設計の支援のほか、大型構造物の開発支援などに適用できると考えています。

関連する研究事業：

県経常研究「機械設計の効率化に関する研究」（令和6年度～令和8年度）